

2月15日1979・No.14

京橋の印刷

発行所
東京都印刷工業組合
京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 552-1855
印刷所 八千代印刷株式会社



盛大にかつ厳粛におこなわれた京橋支部臨時総会

目次

巻頭一言 小宮山支部長	1
京橋支部新年臨時総会	2
△総会見てある記	3
運営に一考を	3
団結と協調の合唱	6
「印刷京橋」と私 桜井美国	8
見たまま/感じたまま/塩崎三朗	9
組合学校 (内) 伊坂一夫	11
△八丁堀のページ	14
地区幹事さん紹介	14
銀座地区	16
新富・京橋地区	17
支部臨時総会に寄せて	16
地区だより	18
組合員の声	19
支部の動き・編集後記	20

巻頭一言

事業者台帳の提出が完了した。2月6日のこと、このことは翌7日の支部長会の席上でも発表され、遅ればせ乍ら当支部伝統の結束を果し、執行部一同心より皆さま方にお礼を申し上げる次第であります。特に地区長並に地区幹事のお骨折りに頭の下がるばかりです。この資料はご案内の通り組合組織の基本をなすもので、特にご負担頂く組合費の算定基礎資料として欠かせないものであります。但し全般的に提出期限に遅れている現状では、その改定作業が間に合わず、54年度第二・四半期からなる見込みであります。そのことのご諒承を頂くと共に、来年度こそ期限内提出が完了できますよう宜しくお願い申し上げます。

京橋支部新年臨時総会開催

退任役員に感謝状など贈る・於熱海



開会のことば(篠倉副支部長)で臨時総会が始まる

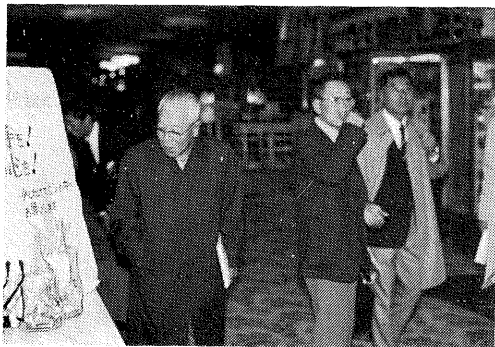
臨時総会は午後四時一五分、司会者より議事進行の協力要請があり、篠倉副支部長の「新年を迎え大変に難しい時代であり、組合員の一層の連帯と協調が必要な時機ではないか」と、開会のことばに始まり、続いて挨拶にたった小宮山支部長は来賓と出席者に感謝の辞を述べたあと、「昨年四月に誕生した現執行部も、早いもので既に九カ月が経過した。前執行部の敷かれた路線に従い大過なく任務を遂行してきました。特に支部機関誌『京橋の印刷』の第一三号を、一周年記念号として本日皆様のお手許にお配りできましたことは執行部にとり誠に欣快の至りであり、この一周年記念号には、当



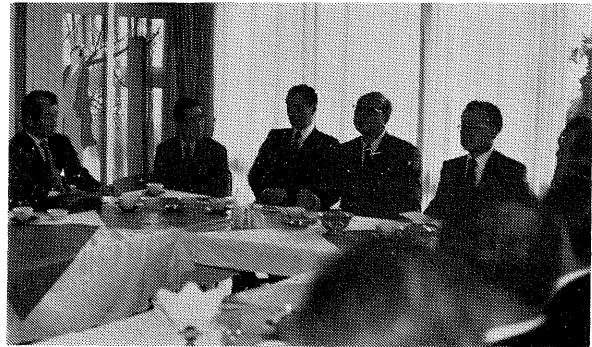
篠倉副支部長

今年「考える時代」に

一月二七日京橋支部の昭和五十四年新年臨時総会が、熱海市・静観荘において本部・松本一磨副理事長、同・石沢幸副理事長、同・磯野光雄専務理事、同・伊坂一夫顧問、中央区工業団体連合会・白橋龍夫会長、東京都製本工業組合京橋支部・牧野佐武朗支部長など多数の来賓出席のもとに、退任役員に感謝状と記念品が贈られた。続いて来賓の方々より祝詞があり、更に磯野専務理事の印刷業界を取り巻く当面の情勢と、組合事業報告に併せて祝詞があり総会は終了した。休憩のあと印刷関連業二八社の協賛参加を得て、総員一四五名の新年賀詞交換会が盛大におこなわれた。(編集委員会・編)

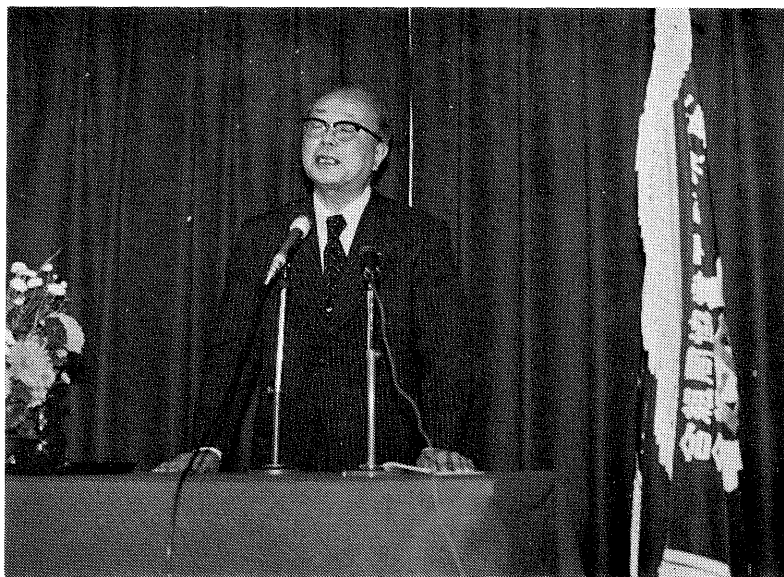


総会受付で今年も恵れない子らに愛の手を!



現地での部長地区長会で総会運営の打合せ

支部の顧問、相談役、参与の皆様方、そして各地区長、各地区幹事の皆様の協賛で発行できたことを報告を兼ねて、厚く御礼を申し上げます。」と昨年一年間の組合事業運営についての協力を謝したあと、「今年も本部の方針、事業運営を確実に忠実に実行していきたい。特に安定成長計画を推進していくには、支部組合員の理解と、協力がなくては遂行できな



今年は「考える時代に」と挨拶する小宮山支部長

のような低成長時代、所謂、安定成長期には多方面に目を向けて、考えを新たにすることがある。いまや、現在は考える時代である。」と強調され、また「アメリカ・テキサス州に、IC半導体を製造しているイーストメント社は最近水昌発振を利用し、デジタル時計を開発し、日本に上陸を目論んでいる。と言われているが、この会社が社員に、第一は会社へ

い。また、支部の運営方針は本日お配りした京橋の印刷第一三号に記載しましたので一読されたい。激動する七〇年代後半は高度成長時代とは著しく異なり、特に七九年は八〇年代への節目とし、また二一世紀を展望するに当り、印刷業界の存在意義や考え方を充分検討する必要がある。このような時代には、お互に智慧を出し合い対処していく必要がある。」更に「われわれ印刷人は印刷そのものだけに、目を向け過ぎている感じは否めないものであるが、今日

〓総会見てある記〓

◆運営に一考を◆

オイルショック後、丸四年永い不況期を喘ぎながら辿りついた感のある、京橋支部の昭和五四年新年臨時総会・新年会である。会場のホテル・ロビーの受付で予め決められた、部屋番号カードを受取り寛ぎ、ひと風呂浴びるべく各自の部屋に消えて行く。定刻、総会開始の室内放送がある、どんどん会議場に参集、直ちに会議開始、司会者の弁も鮮やかに議事進行、来賓の挨拶、それぞれ熱の籠もった挨拶であった。熱弁のため時間が少々長びき司会者が気を揉んでいられる様子、総会も滞りなく終了した。

宴会の開会時間が予定より三〇分ほど遅れて開会され、宴会司会者のユーモアも楽しく進行し、鏡開き、またシヨート、各地区自慢の踊りや歌などが披露され、楽しく時の過ぎるのも忘れる程であった。めでたく中締めのもと名残り惜しむ内に閉会となった。お世話下さった役員の方々に御苦労様でした。

さて振り返ってみて一つには、役員の方の忙しさが気の毒の様にみうけられた。来期から時間の配分に余裕がほしいものである。

二つ目には退任役員に贈呈する感謝

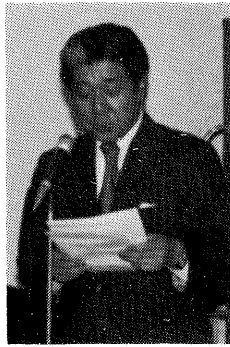
状のことである。それは役員就任期間が二期にわたる場合、次期に支部長に就任された方は、役職自己名で自分感謝状を贈呈することになり、何んとなく釈然としない気がするのである。公私の別であると割切れば、それ迄であるが、今後もある事であるから、何んとか良い知恵で解決してほしいものである。前支部長のもとで活躍貢献されたのであるから、道理上問題はないと思う。ただ贈呈日の問題であるが、便宜上前支部長退任日を書き入れておいて良いかと思うが、ご判断をお願いするものである。(京橋地区S生)



続々とつめかける組合員をさばく受付係

の忠誠心。第二には長時間労働。第三は年功序列制度を社是として採り入れ、会社の体質改善を計り、これに従わないものは他へ行ってもらいたいと訴えたところ、殆どどの社員が『よし、やってやるぞ』と会社の要請に応えたと言われるように、外国企業が日本的な企業体質を制度化しているのに反して、われわれは高度成長期に欧米的な施策を採用することが、進んだものの考え方として、日本人の勤勉さが忘れられ勝ちである。不況とインフレに苦んでいるアメリカ企業が、日本的な考え方方で経営に取り組む時代である。即ち低成長時代に対応する考え方を、見直す必要があるのではないか、いまや考える時代になった」と、今日の情勢を踏まえて訴えられた。

拍手



長島副支部長

そのあと、議事に移り支部規約二三条により小宮山支部長が議長に就任。総会において議決を要する案件の用意と、提出もなされていないので、この件の省略が議場にはかられ、拍手をもって万場一致承認された。つづいて退任役員への感謝状と記念品



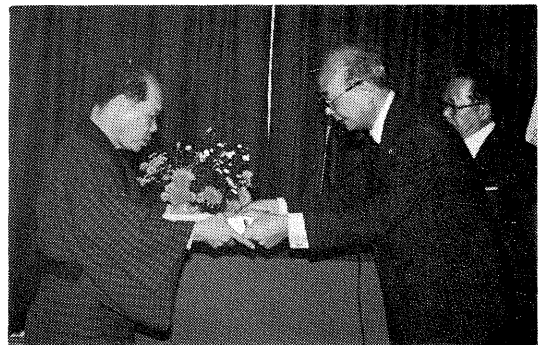
退任執行部の代表久田前支部長に感謝状



退任役員の紹介をする長島副支部長

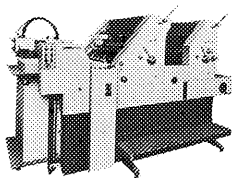


前幹事 (坂田氏) 代表に感謝状を贈る小宮山支部長

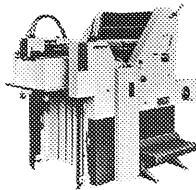


各地区長を代表して柴沼前築地地区長

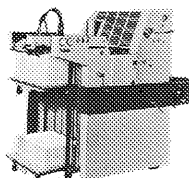
● AD-724 (菊半) (両面・2色)



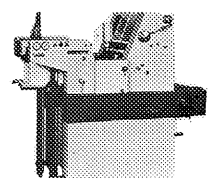
● AD-714 (菊半)



● AD-514 (B3ワイド)



● AD-414 (B4)



ドミナントシリーズ

輸入発売元



〒101 東京都千代田区神田錦町 3-15

TEL (03)294-2918~9



退役員を代表して挨拶する久保田幸一郎氏

の贈呈に移り、長島副支部長の紹介で、前執行部八名を代表し久保田幸一郎前支部長が、前地区長九名の代表に柴沼四郎前築地地区長、前地区幹事三二名から坂田利正京橋地区前幹事が代表で小宮山支部長より、支部への功績とご苦勞に感謝とお礼の言葉を添えて、それぞれに感謝状と記念品が贈られた。これを受けて退任役員を代表して久保田前支部長は、「私たちは誠実をモットーに二年間の任期を満了できましたことは、ご出席の組合員の皆様を初め、先輩の顧問、相談役、参与の皆様方の指導と支援によるものと厚く御礼申し上げます。今後も京橋支部の発展と、地域業界のために後援をしたい」とお礼の挨拶があった。

このあと来賓の祝詞に入り、東印工組松本副理事長は「本年は元日から気候のいい穏やかな日が続いているが、それと対照的に内外の事情は流動的で騒然たる状況で、今年には非常に難しい年だと受け止めている。これに対応すべく東印工組は組織をあげて組織強化、組合員増強運動に取り組んでいる。また、『連帯で繁栄を』テーマに、この三月晴海においてプリンテング・フェアを開催のため準備を進めている。組合事業は一人では成し遂げられない、組合員皆様のご協力をお願いしたい」と述べられた。

更に伊坂一夫顧問、白橋龍夫中央区工団連会長、牧野佐武朗東京都製本工業組



来賓の挨拶がおこなわれる総会場



牧野・製本京橋支部長



白橋工団連会長



伊 坂 顧 問



松本副理事長

四六四截オフセット
オリバー 8

軽便・高速・重装備
580×440. 9000枚/時
姉妹機：オリバー 6 菊四截

桜井機械販売株式会社

〒135 東京都江東区福住2-2-9
電話 (03) 643-1131

写植のことなら何でも...

- 各種写真植字機
- 写真植字文字盤
- オペレーターの養成(写植スクール)
- 版下マンの養成(フィニッシュワークスクール)

株式会社 **モリサワ**

東京支店 東京都新宿区下宮比町15-5 〒162 ☎03-267-1231

磯野専務 情勢報告

去る一月一四日(日曜日)に「東京の花形地場産業の前途」と題しTVで放映され、東京の印刷業の現状が紹介されたが、その取材に日経映画社から本部にこられたので入船町、湊町から八丁堀と案内をしたところ、東京に印刷業がこんなに多いのかと大変驚いていた。昨今他産

〈総会見て歩く記〉

団結と協調

支部新年臨時総会と新年会が梅匂う熱海で、当日は暖冬の新年の日々でも特に絶好の日和に恵れ、ホテル静観荘の部屋から望見する新春の海は、鏡のような静かさで、遙かに初島が煙って浮かんでいた。

定刻午後四時からの恒例の総会も終了し、おもいおもいに風呂へ入るなど寛ぐうちに、宴会案内の館内放送で、宴会場に丹前姿で集合する。宴会に先立ち記念撮影、二・三の方のご挨拶のあと、鏡を開いていよいよ宴会の開始、山田副支部長の軽妙な司会に酒も杯を重ね、きれいだころ? も侍って、会議の時の不景気話は何処のことかと、興趣は酒のメートルと共に上る。地区毎に代表が、自慢の「ノド」を披露し、いよいよ当湊地区の出番だ!



全員で合唱する湊地区組合員

業では工場疎開と言ひ東京から出ていっているの、文字通り印刷業は東京の地場産業に成りつつある。

昭和五一年のの工業統計で、東京印刷は約七千億の売上げで、伸び率は全国平

何せ、自称民謡界No.1という「ノド自慢」ばかりで、誰を代表にしてよいか選出に困り、それでは「団結と協調」のもとに全員で唱おうと衆議一決し、「武田節」をご披露に及び、会場の大拍手をうける。(今後宴会での在り方に、個人芸ばかりでなく、全員での形も良いものだと考えている。)楽しんでいて時間は何と早くたつものか、(会議の時とくらべて)中締に本部・齋藤参与のお手をわずらわし漸次お開きとなる。(湊地区幹事中山)

均より低い、最近印刷においてもドーナツ現象で、東京から周辺の県に移っている現象が統計面にもみられる。東京の場合、活版の伸びも若干殖えて、その伸び率が大体七割位、平版の伸びが一三%位で、年々のオフ化の進行は東京が最先端をいっている。

今年には各方面で多くの問題が取り上げられているが、日本経済は円高から派生する産業構造の転換の年だと言われている。業界の構造の変化が最近目立つのは、商売が国際化し、日本のコストだけが高くなり、世界経済に融和していけないので輸入を増加させる問題もあるが、海外で生産して日本は輸入国に、所謂、日本は工業立国からサービス指向の時代に成り、第三次産業が大きく伸びるであろうと言われている。産業構造審議会では、昭和六〇年迄に約二五〇万の雇用を吸収すると答申を出している。これは印刷業界には、マーケットとして大変嬉しい方向であり、農林水産業や重工業には需要は相当にあるが、直接的な効果は何んといっても第三次産業に負うところが多いためであり、低成長時代ではあるが、将来印刷業界にとり或る程度の成長が期待できるのである。

印刷業界では数年来、問題の海外組版が、昨年は海外から印刷物、即ち外国で日本文字を使った多くの印刷完成品が輸入されるようになり、また新しい競争相手が生れたことになったのである。

ここに鮮やかな一枚
ノーカーボン紙
レジCCP

十條製紙

〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル)
TEL. 東京(03)211-7311

日本を代表するインキ

TOYO KING
ULTRA70

東洋インキ



磯野専務理事

さらに今年の課題は物価であり、昨年は円高の影響で消費者物価は一二月で三、五程度に納ったのであるが、今年は公共料金をはじめ、輸送コストの上昇で、トラックの重量規制により、これの影響が既に昨年一二月から素材関係に出てきており、当然紙の価格、運搬費等に今後出てくる虞がある。しかもガソリン税等の引き上げも予定されているようであり、物価の上昇を業界としてどう吸収していくか大問題である。またオイルショックの再来も考えられ、通産省は石油製品の臨時的な配給切符を印刷することを決定している。このオイル問題は非常に影響が大きく、印刷業界もこの前の時の物不足、特に紙の不足には散々に懲りているので今後どう捉えていくか、今年の大きな課題である。

次は、現在は金利が非常に安いこと。先般も新潟県の或る町の商店街がアーケードを造るのに一二からの銀行や、信用金庫、信用組合、農協に金利についての入札をおこなったニュースが出ていた程の低金利時代である。しかし、片方にインフレという問題が控えていて、この低

金利も今年後半には反騰に転ずるであろう、それだけの諸条件がそろって来ている。従って企業経営の中期的な資金計画を今のうちに、もう一度見直しておく必要があると感じている。

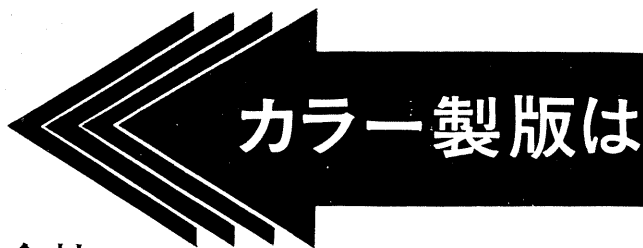
このような情勢のもとに国の財政逼迫も大変で、赤字国債も八兆円という状況で、恐らく数年のうちに破産状態となることから、税制上のいろいろの助成の削減などが方々に出てきている。交際費課税の強化とか、或るいは貸倒引当金の率を引き下げるとか、の手が打たれてくる



熱心に情勢報告に聴きいる総会風景

よう、今の国会でこれから論議が始まる模様で、印刷業界にはストレートに関係のある近代化関係の一連の償却、中小企業用の特別償却などはどうやら今後、二年間は残す原案のようである。また、一般消費税の五五年度導入については、業界は勿論、全国的な大問題で絶対に導入させない、反対運動の行動をせざるを得ない。一般消費税が導入されると、大変な混乱が起るものと思われる。企業が儲かっている方が赤字だろうと、その年度の総売上高から総仕入高を引いた額

に、一定の税率をかけて申告納税する仕組みの大変不合理な税金であり、一つひとつの取り引きがチェックされ徴税されるのではなく、最終的な推計課税で、年度決算と一緒に課税されることになるので、果してその消費税は誰が負担するのか、最終で税金を納める企業が負担させられてしまうような、曖昧なものである。しかも税率は一定ですが、何%になるかは決っていない、五%から一〇%の間で決めるのが適当であると云われていて、初年度は五%位とも云われているが、果して五%をきちんと払ってくれるお客様がある



カラー製版は

能登プロセス株式会社

東京都中央区日本橋蠣殻町1-25-7 ☎(667)5021(代)☎103

か、現在のように不況で競争の激しい時代に、確実に印刷代金とは別に消費税を支払って頂けるかどうか、これは企業が全部かぶってしまうか、或るいは二%とか、三%を負担をするような例が、一社でも出ると、これが業界水準にされてしまい、大変な問題となる。これは料金に跳ね返ってくる問題でどうしても一般消費税の導入は反対である。若し導入するならば、E C方式のように仕送り状の副を付けて税金を明確に行う制度ならば巴むを得ないものである。ただし現在の勤労者一般の所得税の年間平均が一〇万八千円であり、この上に一般消費税も

「印刷京橋」と私

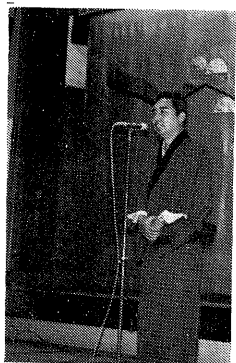
京橋支部の新年会いつもながら盛大な会で、皆様がよくまとまっています。のに敬服いたします。

私はまだ学生の頃、展示会を催すことになり、その案内状をお届けするのに父が「郵便でお届けするよりは、お前が一軒々々歩いて配りなさい」と云われ、京橋地区(中央区)はカタログに案内状をつけて、是非見学下さるようお願いします。それがありません。郵便料がもったいない時代だったのかも知れません……。しかし、今から思えば皆様方の場所も覚え、対話をして頂けて大いに親しみが増したものでし

七万二千円位に成るであろうと試算をしているが、社会党では八万円になると、議論がおこなわれているが、税金だけは確実に倍増するのであるから、当然、賃金に激しく跳ね返ってくるので、これも企業の大きな負担となる。大きな社会的な問題となってくる観点から東印工組は一般消費税の反対を表明し、行動をおこなうので、是非とも理解と支援をお願いしたい。その他広告税についても慎重に検討をし結論をだし行動を決めたい。印刷の不況業種指定が三月まで延長がなされた。円高対策法の救済措置も一部の組合員に利用されている。

た。展示会といえは、京橋地区は地の利が良いので、どこで機械展があっても、いつでも行けるといふことでしょうか、かえってご来場が少ないように思えます。今年も三月二三日から三日間晴海でプリンティング・フェアがありますので、是非共大勢の方に見て戴きご批判、ご提言を賜りたいものと大いに期待いたしております。

桜井製作所社長 桜井 美国



関連業代表の挨拶



短い時間で手際よく熱弁をふるう磯野専務理事

東京に約七千社の印刷企業があるが、昨年、一昨年と二年間の不景気のなかで業界では、企業倒産は大きな影響や、話題にはなっていないが、東京で年間約一四〇社程度の倒産があり、その殆んどがアウトサイダーの業者で東印工組加盟の組合員企業は強力であり、強大な組織である。

四月には統一地方選挙がおこなわれるが、印刷業は不思議なもので、世の中が変るとか、人が動くとか、物が動くとか総て印刷物がついて廻るので、或る意味では大変有難い産業である。

それから東京の印刷の号外でお知らせをした通り、一月と二月に第三者の調べによる印刷料金の水準が、五%から一



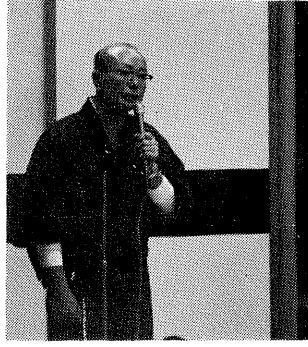
総会々場の執行部席



小山副支部長

四%と、それぞれの項目により異なるが、一斉に改訂アップされたと言う好材料であるが、これが業界全部に潤うものではないけれども、何れ業界にプラス要因ともなると思う。

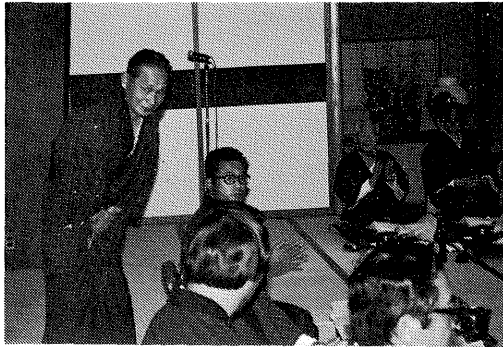
今日の技術開発は目ざましく、オフ輪とか電算写植、或るいはVDT、イメージコンダクターなどと業界内の技術革新がおこなわれている。業界外においては



新年会で挨拶する石沢副理事長・小宮山支部長



新年会宴会の名司会者, 長島副支部長(右)小倉監査(左)



関連業界紹介の第一陣は中央厚生協組清水理事長

新聞社のオフ化による印刷受注問題や、プリント・ショップの問題や、社内印刷等々の他業界との競争が始まりつつあるので、どうか業界運動の一つとしてご協力されたい。
業界のなかにコンピュータが入ってきつつあり、その影響もでてきている。こ
三月一四日には電話の完全の自動化が、
世界で一番目とことですが完成する
そうだが全国で四千万台が全国津々
浦々に電話自動化されることになった。
こういうなかで、ファクシミリの登場で
原稿だとか、ダイレクトメールや、通信
教育などに係わるものがあり、その影響
を受ける業界は、先ず新聞であり、郵便業
務、三番目が印刷業であると指摘されて
いる。その方面にも関心をもっていた

きたい。
と最近の組合を取り巻く情勢と組合事業
が磯野専務理事より約二五分で手際よく
報告された。
以上で小山副支部長の閉会のことばで
臨時総会を終了した。



威勢のよい鏡開き

新年臨時総会に
見たまま！ 感じたまま！
新年臨時総会に
見たまま！ 感じたまま！
新年臨時総会の一員として
参加してびっくりしましたのは会が
大盛況な事でもございました。これは小
宮山支部長をはじめ支部幹部の皆様
の熱心な御活動によるのもさる事
ながら、支部組合員の皆様が激働の一九
七九年を迎えるに当り、連帯と協調の
精神を基に並々ならぬ御決意で臨まれ
たものと感服致しました。錦上更に花
をそえましたのが本部役員の皆様の御

参加であつたと申せましよう。
支部長の言われる様に今年「考
える年」であるかも知れません。国の内
外を問わず一寸先も不透明な現在で
は、じっくり考えて対処する必要を
痛感させられた総会であつたと思いま
す。今年も皆様の益々の御発展と御健
勝を心からお祈りして感想文と致しま
す。

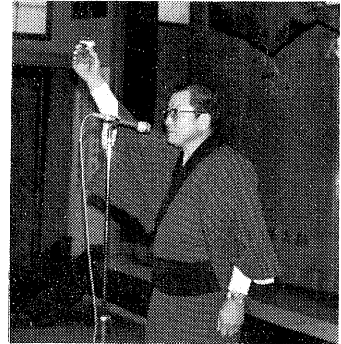
東洋インキ製造株式会社
塩崎 三朗



新年会宴会場風景



新年会前全員が整列し記念撮影がおこなわれる



声高らかに乾杯の音頭



宴会を楽しむ組員



協賛参加の関連業の方々



印刷くじ特賞は瀬戸相談役に

休憩のあと、大宴会場に席を移し、関連業界の方々を交えて全員で記念撮影をおこない新年会となる。山田副支部長、小倉監査の司会で、小宮山支部長より特別に関連業界の皆さんの協賛参加に対してお礼と感謝の挨拶があり、続いて本部・石沢副理事長の挨拶が述べられ、司会の山田副支部長より協賛出席の関連業の方々一人ひとりの紹介をおこなって、そのあと関連業を代表して桜井機械販売の桜井国美社長の挨拶がおこなわれた。続いて松本副理事長、中村謹吾顧問、大和屋洋紙店杉山民治社長、文化産業信用組合湯浅時夫京橋支店長の四人の気合のこもった掛声と植音で目出度く鐘開きがおこなわれ、本部・久保田幸一郎常務理事の音頭で乾杯がおこなわれ宴会に入った。さらに「ほのぼのプレゼント」おたのしみ印刷くじの福引が出席の全員でおこな



宴会の途中中締をする齊藤顧問 (右端)

れ、空くじなしで景品がくばられた。また、山田副支部長の軽妙な司会につられて次々と隠し芸が披露され、特に湊地区全員の合唱が「連帯と団結」を示めし素晴らしく、楽しく時の経つのも忘れ遅くまで歓談が続ぎ、八時三〇分斎藤喜徳顧問の中締、その後も散会を喜んで熱海の夕を存分に楽しんでた。

なお、お忙しい方もおられ宿泊をせずにお帰えりが何人かあった。

翌二八日は日曜日早朝ゴルフに何組か出られた模様、午前八時半朝食後開散。前日の日和と変わり寒さが身に染みたが、熱海ではもう桜が開花していた。

組 合 学 校

(六)

伊 坂 一 夫

組合学校と題したのは

先代伊坂留吉の独り子として生れ、人手不足で大学へ進学も断念して、大倉商業卒業と同時に、すぐ家業にたづさわった私は、「他人の飯を食う」という機会もなかった。強いて云えば、卒業の前年に、京橋郵便局の臨時雇につとめて給料を頂いたのだけであつた。

従つて世間を全く知らず、業界先輩諸兄にお付合ひして、ご指導を頂き、見習つてだんだんと世間学を知つたので、その先生方に感謝を述べるつもりで、書いております。皆さんいい方ばかりでした。

東京活版印刷工業組合創立

昭和十四年十二月、東京活版印刷工業組合が創立されました。

理事長 青木 弘氏 (大日本印刷株式會社社長・現大日本印刷北島織衛氏の御尊父)

専務理事 鷺見 知枝磨氏 (元京橋・後芝区に移転した鷺見文友堂の社長で当時隠退中)

常務理事 川橋源三郎氏 (京橋・仁

川堂川橋印刷社長)
 塚田十五郎氏 (神田・塚田印刷社長・塚田益男氏御尊父)
 貫井修三氏 (浅草・好文堂印刷社長)
 小林繁次郎氏 (芝・小林印刷社長)

理事 十六人の内 京橋支部より 高橋興作氏 (正進社社長) 監事 五名の内京橋支部より一名 伊坂一夫 (新参)

以上の名実共に業界最有力者 (除・伊坂) 中心となつて、同意者数二、三五〇名で、これと相前後して出来た業種別の平版工業組合其の他に比べて遙かに大世帯であつた。幹部諸公は弁舌も指導力も実行力も優れ、誠にまとまつた組合でした。

平版工業組合は理事長土屋玉葉氏 (京橋) で、老人は昔を懐しがると言われるが、この時の京橋印刷界は組合における戦前の黄金時代ではなかつたかと思ひます。

昭和十六年十一月、工組理事長青木弘氏が退任され、一色活版所社長、吉田信

賢氏が後を継がれました。

役員 の 横 顔

青木理事長殿は白髪温顔の老紳士で余り発言されませんが、役員一同心服して、理事長が御出席されると、諸議案はスムーズに決定して、之が本当の指導者の姿だつたのでしよう。

鷺見専務理事殿は組合の大先輩で、思慮深くよく議論されましたが、必ず御自分の発案に心服させて、まとめておられ、理想的な専務理事だつたように記憶しております。

川橋常務理事は筆頭常務として、京橋をバックに高橋理事を充分に活躍させ、三役をスムーズにまとめて行かれました。温顔でしたが、なかなか芯に強い処があつたように見受けました。

塚田常務・貫井常務・小林常務、お三人共立派な指導者で、理事長、専務を立てて、組合運営を第一に考え、組合発展には涙ぐましい程、活躍されました。

高橋理事は献身的に活動され、川橋常務理事を助け、鷺見専務理事ともうまが合つて、洋紙及び資材の配給及び激変の戦時下の組合運営を間違なく推進させた功勞の第一人者であつたと思ひます。

後任の吉田信賢理事長殿はお人柄笑わせながら、組合運営を上手に運ばれ、戦災後復興について、アドバイスを頂きました。

業界のトップメーカーで 全国で一番よく使われている!

ハート印 [名刺用紙・私製はがき・招待状カード・封筒 株券用紙・賞状用紙・荷札・のし紙・カレンダー] 発売元

ハート株式会社

東京東支店

135 東京都江東区冬木15番10号 電話 東京 (03) 641-1153 代表

本社 540 大阪市東区南農人町2丁目39番地 電話 大阪 (06) 942-2321 番 (大代表)
 支店 札幌・仙台・東京西・東京南・東京北・静岡・名古屋・金沢・京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡

京橋支部の陣容

昭和十四年活版工組創立当時の支部は

初代支部長 増田末吉氏 (三区)

常任幹事 高橋興作氏 (六区)

先川道三氏 (七区)

羽田元治氏 (八区)

齋藤任弘氏 (七区)

浜田仙松氏 (一区)

会計幹事 熊谷敬一氏 (四区)

他に群雄が多数居られて、支部運営に本部活動に活躍されました。

色々と教えられ、思い出の多かった、活版工組の事を述べたく、筆が後戻りした事をお許し下さい。

私も空襲で罹災し、会社の復興に専念するので組合に暫く御無沙汰しました。

高橋興作理事長

高橋興作理事長は昭和十年頃より戦前戦後を通じて、人生の総てを献げて、印刷業界の為におししになりました。

昭和二十四年四月、東京印刷工業協同組合設立と同時に、初代理事長に推され、また、二十四年九月、日本印刷工業会会長に、細川活版社長北川武之輔氏御就任に当って、乞われて副会長に御就任になりました。更に一方、京橋支部長も兼任され、一人三役、文字通りの大活躍をなさいました。

昭和二十五年六月、北川日印工会長辞任のあとも、二代目会長に共同印刷社長大

橋芳雄氏御就任に当っては、留任を懇望され、正進社を山本専務に任せて、毎日組合に御出勤になって、業界全般の事を指揮されました。文字通り、京橋支部

の、東京の、いや全国印刷業界の親柱と申しても間違いありません。

当時の組合は復興期に当って、事務員の数も少なく、労務問題、税務問題、資材問題、金融問題等が山積しておりまし

た。昭和二十四年四月、東京印刷時報を発刊し、組合員の啓蒙、開発につくされまし

活字の共同鑄造

当時活字購入が不便なものと、価格も高いし、鑄造設備のない組合員のため、事務所を改造して、活字鑄造の共同施設を始め、之に主力を注ぎました。

昭和二十六年三月、政府の補助金三〇万円の交付を受け、別に商工組合中央金庫から理事長始め、全理事の個人連帯保証によって、二〇〇万円を借入れ、母型を先ず五号、次に九ボ、八ボと揃えました。が、理事の中で一人判を押さない人が出来たり、高橋理事長は非常に御苦勞なさいました。

安達専務理事が眼の病気のため退任されて、常務理事の柴田三千郎氏が後を継がれました。

安達氏は話も上手で、可愛がって頂きました。昭和九年から、釣道に入られ、

当時は溪谷の「やまめ」専門になり、収穫の多かった時は、その戦果報告が大変でした。

後任の柴田三千郎専務は雄弁の人であり、税に就いては非常に造詣深く、七面八臂の活躍をして、高橋理事長の片腕となって組合のためにつくして下さいました。

中村徳三氏

京橋支部長に就任

昭和二十四年八月、高橋支部長から中村徳三副支部長にバトンタッチ。

支部長 中村徳三
副支部長 先川道三

堀澤健治

副支部長 (兼会計) 伊坂一夫

中村徳三氏は清元の名手であり、社交上手で、人をそらさぬ、根からのセールスマンタイプでいろいろと教えられました。日本印刷工業会及組合本部の方針に則り、最大支部として、その推進に協力され、高橋支部長のあと戦後の京橋支部の再編成の仕上げに、支部を上手にまとめられた事は敬服の外はありません。

処が二十七年一月本部の安達専務が、柴田三千郎専務に交代される頃、突然中村支部長が辞任の申し出がありました。

お鉢が廻って

当時常務理事の末席を汚しておりまし



株式会社 山 櫻

東京都中央区築地 3-2-9

電話 542-8511 (大代)

支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有
墨田・蒲田・横浜・千葉・大阪/昭島

名刺・はがき・カード・封筒 etc
.....紙製品の総合メーカー



進まぬ表情でしたので、京橋支部長はともと高橋理事長にお断りしたのでした。が役者は揃えてあるからといわれて

- 副支部長 田島久男(平版)
- 白橋龍夫(商業)
- 小林光次(買物)
- 木藤秀雄(商業)

の諸氏のお膳立ての出来ている所え座った訳です。正直申して、当時の支部は事務所はないし、書記もない訳で、家族の応援を受けて冷汗をかきながら、仕事をしました。

小なりといえども、長となると責任は重く、よい体験をさせて頂きました。副支部長さん達は、年令も上ですし、御苦労された、社会経験の豊かな方々ですから、随分助けられ教えられました。

第一回印刷文化典開催

東京印刷工業会山田三郎太会長の御提唱によって、昭和二十七年九月、第一回印刷文化典が上野松坂屋で、盛大に開かれました。高松宮殿下のご台臨を仰ぎ、「印刷あり、文化あり」と高らかに唱え、其の後の業界大躍進のもととなった大事業が成功裡に行われました。

また処が！

昭和二十七年十一月、工組の柴田専務理事が御退任になったので、その後釜として御推挙を受けました。

理事長 高橋 与作(京 橋)

- 副理事長 伊藤 集(千代田)
- 専務理事 伊坂 一夫(京 橋)
- 常務理事 長谷川隆士(城北)
- 吉田真一郎(浅草)
- 横山 豊(墨田)
- 向 喜久雄(北)

ここでもまた年少者でしたが、皆さんから、社会学と創業のご苦労話を伺い、専務見習と共に色々勉強になりました。伊藤副理事長は洋画に造詣深く、旅行の時はスケッチブック御持参で、手早くスケッチされました。温厚な好々爺のよう

な印象を受けましたが、しかし千代田の旦那、気に入らないと首をたてに振りません。長谷川常務理事は同窓の先輩で、手相博士でした。酒席には和服姿で出席し、酌人の手を見て、占って人気あり、座敷に興を添えてくれ人の真似の出来ない特技を持っていられました。

吉田常務理事は区会議員、都会議員の歴任者で、組合でも大正一二年代議員就任の大ベテランでした。横山常務理事はモラロジの幹部で仲々筋を通した話をなさる方でした。向常務理事はあとで健保の創始者となり、全印工連の理事長にもなられた方ですが、親分肌で、人集めの上手な方でした。

田島京橋支部長誕生

昭和二十七年十一月、伊坂が本部分行きの

あとの内閣につき臨時総会を開き、詮衝委員会を

- 支部長 田島 久男
- 副支部長 白橋 龍夫
- 長崎 義信
- 小林 光治

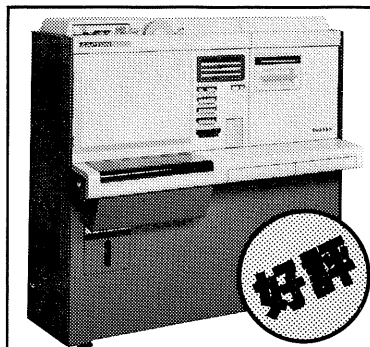
が選任されました。京橋支部は田島支部長以下の幹部諸公のお骨折りでむづかしい時代でしたが大発展しました。

高橋理事長辞任

昭和二十九年十一月、協組臨時理事会が開かれ、その席上突然高橋理事長から健康上の理由で辞表を提出された。

その前の理事会で共同鑄造に関するの提出議案について強い反対表明を某理事から開陳され、ハツとした場面があったが、伊藤副理事長以下我々も口を揃えて、調整組合等の問題もあり、重大な時機なので思い止まるよう懇請したがガンとして受入れられなかった。

実は理事長の周辺で、活版工組設立の昭和二十四年以来、六年理事長の激職にあつて、よく数々の業績を残されたが、余りにも負担が重く、健康を害されるような事があったは大変だという、意見が出た退任の膳立てが作られたとあとで伺った。何れにもせよ、高橋理事長本当に御苦労様でした。工組も京橋支部も、此処まで発展した事は偏に高橋理事長のお陰ですと深くお礼申し上げます。(続く)



各地で続々導入中!! SAPTON[®]-Somanechi

電算写植機サプトンソマネチが今、「経営の合理化と売り上げアップ」の旗手として絶大な人気を博しています。"多種少量の組版でも採算がとれる"ことから、東京をはじめ各地の大手・中小印刷会社・軽印刷会社でも続々導入中! 「電算写植を入れても……」の不安を解消しました。



東京都豊島区南大塚2-26-13 170 ☎ (03) 922-2211 ●札幌・仙台・金沢・静岡・名古屋・大阪・広島・福岡

「八丁堀」の由来

——与力・同心と堀部安兵衛——

河 野 秀 衛

八丁堀といえは与力、同心と堀部安兵衛を連想する。八丁堀の由来からそれ

まつわる与力・同心と堀部安兵衛について、前者は京橋図書館の安藤菊二氏の説を引用し、後者は昭和四十五年八月に、亀島橋北詰に建立された石碑の表面に刻まれている文をお読み願うことにした。

「八丁堀」の由来

京橋川の下流、桜川と呼ばれる堀川も、今は大部分埋立られてしまったけれども、堀整された当時は一般に「八丁堀」と呼んでいた。寛永年間(一六二四～四三)、通船の便をはかって堀られたもので、その長さおおよそ八町余にわたるのでこの呼称が生まれたといわれる。

堀添いの北側を八丁堀町、堀の南側、海原を背にして、鶴のくちばしのようと細長く突き出た町を南八丁堀町と呼んだ。

一説には、本八丁堀の名主岡崎十左衛門の先祖は三国岡崎宿統きの八町村の者で、天正一八年徳川氏の入国に従って江戸に来て、この地を拝領し、地勢が岡

崎の八町堤に似ているところから八丁堀と称したのだともいう。

ともあれ、舟入堀り八丁堀の名は、やがて茅場町・坂本町以南一帯の称呼として用いられるようになった。それがいつごろからのことか詳らかでないが、すでに『延宝江戸図』(七年刊一六七九)には、楓川の北川口に「この川より八丁ぼり」と記してあるから、すでに三百年に

なんなんとするのである。話が前後したが、この八丁堀地区の築上られたのは、関が原合戦の後三年、慶長八年(一六〇三)の例の豊島洲崎の大埋立工事の際のことであるらしい。地区内の町名に、亀島町・北島町・竹島町など、島の字のつく町名の多いことからして、当時この地域は、諸々に低平な島のある河口洲だったことが想像される。

亀島町の玉円寺の由来に、当寺は大永三年(一五二三)この地に起立し、安持院と号していたのを、慶長八年今の寺号に改めたのだといっていたのは、信頼性に乏しいにしても、むげに退けかねる節もなくはない。

さて、寛永ごろには、この地楓川沿岸

と、出入の多い東方海岸には、大名・旗本屋敷が割与えられ、中間地帯は、北から南までことごとく寺院であった。『寛永江戸図』には寺院の名を記すものすべて四三方寺の多きを数える。しかも武家地の北端に幕府水軍の勇将向井将監の屋敷を、そして東南端にも御船手方の召川八左衛門の屋敷を配置しているのは、この地の埋立てが、江戸湾からする敵の奇襲攻撃に対する配慮に出ていることを物語っている。

ついで、明暦三年(一六五八)の振袖火事に少しく先立って刊行された『新添江戸図』によると、八丁堀の寺町の姿は変わって、新たに組与力の置かれているのを見る。さしも多数にあった地区の寺院は、明暦三年の江戸の大火を待たずして、場末の芝や浅草の寺町に移されていたのである。残ったのは岡崎町の亀島山玉円寺のただ一寺であった。

与力・同心

江戸町奉行配下直属の与力組織ができたのは、慶長初年とも元和年間ともいわれていてはつきりしない。町奉行付与力・同心は今日の警察官である。彼らは市中探索に当るための要件として拝領屋敷が御城池近辺にあることの必要性を強調して、この地を拝領したのであって、居宅は竹島町・北島町・亀島町から八丁堀

生産性の「拡大」に

「コニースーパーテン」がお応えします。

毎時1万枚の超高速菊全判オフセット印刷機 2・4・5色機

小森印刷機械株式会社

本社 東京都墨田区吾妻橋3丁目11番1号 〒130 東京都(624)7161番(大代表)

付近一带にわたっていた。八丁堀の名が江戸八百八町に鳴り響いていたのはつまりはこの地が与力同心町だったからに他ならない。

町奉行配下与力同心の数は、初めは南北兩奉行所に与力各二五騎、同心五〇人ずつであったが、後には事務が多端になって、同心の数は累増し、幕末安政六年には兩奉行所に一四〇

人ずつとエスカレートした。だから前記の諸町は与力町の割り残し地に狭まれて、点在する形であったのである。

だいたい与力の拝領屋敷は二五〇坪が標準で、門構え玄關付きの堂々たる屋敷であった。それに引きかえて

同心の方は百坪ほどの地所を拝領し、表通りは町人に貸し、自分らは町裏に住んでいたといわれている。

与力同心の貸室には、儒者、医者、手跡指南、検校など住む人は多彩であったし、九尺二間の裏長屋には、その日暮らしの生活をする職人や人足・振売業者などが多く住み、与力町とは対象的な庶民生活を繰り広げていた。

こうした庶民的色彩は幕藩体制が崩壊

し、大名屋敷、与力屋敷が開放されると、八丁堀全域に拡散する形となった。与力はすべて百坪ほどの地所を分与されたというが、彼らは府庁勤めのかたわら貸室を建てて収入補助の道を講ずることになったからである。

生活用品を商う店の立並ぶ表通りはともかくとして、一歩裏通りに入れば、大



八丁堀亀島橋北詰に立つ堀部安兵衛のいしづみ

堀部安兵衛武庸

越後新発田五万石溝口藩中山弥次右衛門の子、寛文十一年生れ元禄元年江戸之念流堀内道場へ入門、元禄四年玉木一刀斎道場師範、元禄七年二月高田の馬場に於て叔父菅野六郎左衛門之仇討、其の後

も京橋水谷町儒者細井次郎太夫家に居住、浅野家臣堀部家の妙と結婚堀部安兵衛武庸となる禄高二百石、元禄一四年一〇月本所林町に於て長江長左衛門の名で剣道指南、元禄一五年一二月一四日赤穂義士の一人として吉良邸に乱入仇討す。元禄一六年二月四日歿三四才。

法名 刀雲輝劍信士

東京の中心である東京駅から徒歩で十分足らず、銀座に至っては五分あれば歩いて行かれる。正に八丁堀は東京都の中心であるといってもよいのではないか。

最近になって八重洲通りは勿論のこと、新大橋通り、永代京橋線、桜橋茅場町線の主要道に沿ってビルが林立し、庶民の町もどうやらビジネスセンターに変貌しつつあるのが実情のようである。

正時代の末まで、水道もなく、便所さえなく、ソウゴカ(惣後架)と呼ばれるそんな共同便所を使用する長屋の多い住宅区であった。

この八丁堀地区に大変化をもたらしたのは大正己亥の関東大震災であって、その後の五〇年間に八丁堀はめざましい発展をとげた。

八丁堀地区のページ

対話へのかけ橋

1枚の封筒にも
大きな使命が
かせられています。



山口封筒

本社 〒104 東京都中央区八丁堀2-2-7 電話(551)1151代
工場 〒132 東京都江戸川区西端江4 21 電話(652)7721代

銀座地区幹事さん紹介

瀬戸 恭平さん



の貢献をされた方で、今期は区長の強い要望もあつて区長補佐を担当されてる有力者。

㈱昇寿堂代表取締役社長。生年/S2年9月生。趣味/野球・写真。寸評/昇寿堂瀬戸さんと云えば前期には副支部長として又現会長は十八代の支部長を勤められた父子共々組合に対し多大

柴田 淳一さん



つも明朗なお人柄に地区員の信頼も厚く、通算六期も幹事を勤められ目下活躍中期待大。

㈱近代社取締役副社長。生年/S6年12月生。趣味/ゴルフ、ラグビー、音楽鑑賞寸評。/S33年現社長と共に銀座にて創業、五年後に板橋に新工場を設立し近代経営方針にて益々発展、い

小西 正雄さん



組織としS42年四代目社長を就任。二世会幹事長の活躍ぶりも高く評価された堅実型。

㈱小西商店印刷所代表取締役。生年/S8年11月生。趣味/水泳、ゴルフ、旅行。寸評/当地区の最古参、初代創業した時は細川活版の次位だったとのこと。S21年終戦と共に再建、法人

支部臨時総会に寄せて

印刷屋さんと紙屋

㈱大和屋洋紙店

社長 杉山 民治

むかし、我々のおやじの時代は、印刷屋さん和紙屋とは、もっと、ずうっと親しい間柄であつたように思う。そして、お互いにもっと経営も楽であつた。

最近、お互いに経営が苦しくなり、お互いの間に疑心暗鬼が生じたりすることが多くなりつつあるように思われる。その一番の原因は、印刷屋さんの先のお得意さんが、企業エゴむき出しに、印刷屋さん無理を強いるためだと思ふ。何れにしても、印刷と紙とは、お互いになくってはならない仲なのだから、もっと、お互いに腹藏なく話し合え、信頼し合える間柄でなければならぬし、その信頼関係の上に立って、お互いの立場をお得意さんに理解してもらふ必要がある。

良識ある行動を

大日本インキ化学工業㈱

第 一 営業部長 土屋 隆夫

通貨問題はどうかや安定して来ましたが、米中国交、ソ連北方基地、カンボジア、朝鮮統一、イラン問題等々内外とも騒然たる七九年の幕開けです。低成長

お互いの経営を守り、幸福を実現するために、印刷屋さん和紙屋との信頼関係を再び確立することが、何にもまして急務だと痛感している。

作業交流は支部組合員に

オフセットによる複写帳票類・端物印刷は安心してまかせられると定評ある当社へどうぞ

●ハイデルKORD(A2)ダビッドソン700S(A3)

有限会社 中山印刷所

湊2-7-7 TEL. (551)2937(553)6796

オフセットはハイデル

A3判単色、多色、多色両面機から、菊全判多色、多色両面機まで豊富な機種。

グラフィックアーツの総合商社 印刷機械貿易株式会社

本社 大阪府寝屋川市豊里町1番4号 TEL0720(32)0441 千572
東京事業部 東京都品川区南大井3-21-4 TEL(763)4141 千140

時代に入ってはやくも五年、なお全く断を許さぬ情勢がありますが、この様なときこそ各業界の良識ある行動が大きな意義をもつと存じます。この度の京橋支部新年総会で皆様のお元氣なご様子に接し、その団結力、統一ある組織力に感動致しますと共に、大いに意を強くした次第でございます。昨今の相次ぐ資源値上げの動きから世界経済は又タイムフレ基調に入った模様です。これを取り切るためには受注産業と云う宿命を背負った印刷業界の料金適正化が誠に重要であり、これは「協調」による実現しかございません。

小宮山支部長様を得て、大きく羽ばたく京橋支部皆々様の益々の御発展を心からお祈り申し上げる次第でございます。

新富地区幹事さん紹介

一乗 道雄さん



尚文堂印刷株式会社取締役社長。職歴／学習院大を出て先代の事業を引き継ぐ二代目社長さん。生年／S9・1。趣味／旅行、麻雀。寸評／常に陣頭に立って活躍され、仕事には厳しい反面、頼まれると厭と言えない誰からも愛されるお人柄、軽妙な話術で周囲を楽しませてくれる人。

お礼のことば



支部長

小宮山敬之

去る一月二七日の支部臨時総会には、皆さま、お多忙中のところ、また遠路にも拘らず多数のご出席を頂き、この会合に錦上華を添えて頂きましたことを執行部一同心より厚くお礼申し上げます。またご来賓始め関連業界並に報道関係

京橋地区幹事さん紹介

安田 博威さん



丸栄代表取締役。職歴／T15年慶大卒、三菱商事入社、終戦財閥解体によりS23年会社解散、S29年丸栄写真印刷設立、S48年丸栄に組織変更。生年／T4・7。出身／東京都。趣味／ゴルフ、陶芸。寸評／商事会社勤務で身につけた理論と勤勉さが今日を成している。

者の皆さま方におかれましても、遠路ご光臨の栄を賜わり、且つ祝詞および過分のご高志を頂戴し心より厚くお礼申し上げます。

当日は式典会場および宴会場またお部屋割り等、万事に亘り失礼の段数々重なりあったことと存じますが、執行部一同懸命に努力したものの、不慣れ、未熟に勝てなかった次第をご賢察頂きご寛容の程お願い申し上げます。

なお当日受付にて「恵まれない子に愛の手を」の募金をお願い致しました所、多額の善意を頂戴し有難度うございました。近日中に静岡県小笠原浜岡町にあります、宮城まり子さん主宰の「ねむの木学園」に寄進させて頂きますことをご報告させて頂きます。

尾島賢一郎さん



三徳印刷専務取締役。職歴／S34年早稲田大学第一政経学部卒、米國留学帰朝後、三徳印刷入社現在に至る。生年／S12・3。出身／東京都京橋。趣味／スポーツ万能。寸評／先代社長ご尊父のもとで着々と帝王学を身につけ、その手腕は高く評価されている。

プロセスインキの最高峰

New Champion

Super Apex



大日本インキ化学

印刷製本が支える 組合給食

事業主と従業員の栄養源 健康を守る

給食センター

中央厚生事業協同組合(551)4909

理事長 清水 栄之助
◎ご利用をお待ちして居ます

地区だより

▼新川地区 一月一〇日午後六時より、東京ダイヤビルのレストラン・オリブにおいて、組合員三七名出席のもと、新年会が催されました。新年の松飾りもとれたばかり、正月気分も、抜け切らぬまま、賑々しく、会場のあちこちでは、新年の挨拶をとり交す風景が見られました。

まず、田島地区長より、新春の挨拶がありついで、お忙しいなかを、特別に時間をさいておいで戴いた、小宮山支部

一〇月の南九州ツアーを宇野幹事が説明 (上)



長、伊坂顧問より、お言葉を頂戴致しました。

その後、司会の土屋幹事より、地区の今後の行事予定についての発表があり、特に五四年度行事のハイライトである、旅行会の南九州ツアーについては、宇野幹事より、詳細な説明がありました。

引き続き、小山副支部長の乾杯の首頭で、宴会に入りました。なごやかな雰囲気のうち、あちこちで、得意の歌などが出、八時頃、最高潮に達したところで、一応、三好印刷社長の手拍子で中締めとなりました。

なお、最後に、明祥印刷小森社長の発案により、参加者三七名全員が、手をつなぎ、一つの大きな輪を作って、童謡の「お手々つないで」の合唱で、テーブルの囲りを行進致しました。この大きな輪が、命運をともにする我々の強い絆に思われ、より一層の近親感、連帯感を覚えられました。非常に印象的な新年でした。

(MS生)

今後の行事予定

- 五四年三月 研修会
- 五月 ゴルフ大会
- 七月 納涼会
- 一〇月 旅行会
- 五五年一月 新年会
- 三月 総会



小宮山支部長を囲んで月島地区の12月例会

▼月島地区 昨年末の十二月二日勝どき一丁目の地区常席ヤマニ食堂に月例会と忘年会を兼ねて当日は小宮山支部長が列席されるので地区長のお骨折りで定刻に全員が集った。先ず地区長の報告事項と議題に入り、特に事業者台帖一〇〇%回収の地区目標の達成のお礼と、組織強化の具体的運動の取り組みの提案があり、更に新春一月の例会は支部臨時総会でおこないたいとの提案を賛成、続いて支部長の連帯と協調を訴える挨拶があり、そのあと忘年会に移り一年間の不況の総決算と、来年半年の展望を語り合い散会した。

親しみをこめたおつきあい

一儲 文化産業信用組合 京橋支店

理事 湯 浅 時 夫
支店長

東京都中央区八丁堀4-13-1 ☎551-9625代☎104

決定! オフ下請なら宏洋社

菊全2色三菱NEW DAIYA II-2N 稼動開始

中央区湊2-7-2 (有)宏洋社 ☎551-9992

組合員の声

皆さんの生の声を聞かせて下さい。常に考えていること、組合に対する希望、不満など何んでも投稿してください。

皆さんの声で、手で、組合をよりよい皆さんの組合にしてください、明るい組合づくりにご協力ください。

《総会について》

銀座地区から一言アラカルト

▼思ったより静観荘はきれいに改装されていてサービスもまあまあだった。熱海に集まったメンバーは地区会員の打率五割、しかし総会出席者は打率その内のまた五割だ、支部のやり方が悪いのか、それとも組合員の自覚がたりないのか、本来総会というものは、そういった性質のものなのか？ (O)

▼総会というものは一つの儀式だから、タイクツなのも仕様がでない。でも祝辞はもう少し短かくならないでしょうか(A)

▼専務理事の話は内容が濃く身近な問題を良くとらえていた。一般消費税反対のために組合員の力の結集も必要なのではないか。(S)

▼近頃の印刷組合は何か官僚的なにおいを感じる、組合員の総意を行政に反映さ

せる姿勢よりも、役所の指導を組合員に「ご無理ごもっとも」と押しつける感じがしてならない。戦時中の統制組合には二度となつてもらいたくないし、またならせたいいけない。これは「組合は組合員の組合である」との立場からいえば事務局も反省し、組合員も反省しなければならぬ。公害問題などで役所から指導されたり規制されるケースもあるので、そんな面も出てくるのでそう感じるのだろうか。しかし断裁機等は安全装置がついているのだから、資格講習会的なものをご無理ごもっともと組合がやることもないのではないか。むしろ実情にそぐわない資格みたいなものはやめさせるよう役所に組合の力でさせた方が実態にかなって行くのではないか、とにかくこの頃は「資格」「資格」が多くなつたもん(W)だ。

京橋の印刷の編集に弾力性を

▼「京橋の印刷」に改めて目を通してみた。正直いってその内容と価値の認識を新たにし、編集委員のご苦労を思っている。しかし、敢えてものを申せば少々立派すぎではないか、その割に読まれない嫌いがあるのではないか。出来ることならばA3判二つ折り位の広報紙にして、開けば東印工組と支部の意図する情報と、組合加入のメリットがパッと目に留まるようにし、未加入業者にも広く配布すれば、組織強化拡大のための浸透に一層期待出来るよう。(入船・Y生)

東京洋紙同業会・京一会会員 (五十音順)

朝西紙商事株式会社	朝日紙交易株式会社	株式会社 飯島商店	株式会社 石塚洋紙店	株式会社 市川商店	株式会社 鵬紙業	株式会社 加清	木邨紙業株式会社	株式会社 共和洋紙店	京橋紙業株式会社	株式会社 栗原洋紙店	株式会社 公栄洋紙店	國榮紙業株式会社	株式会社 桜井	三和紙業株式会社	株式会社 塩沢	七洋紙業株式会社	株式会社 白石紙店	寿菱紙商事株式会社	株式会社 大一洋紙店	株式会社 東京商會	中庄株式会社	株式会社 錦洋紙店	株式会社 芳賀洋紙店	柏和紙業株式会社	株式会社 日野屋洋紙店	福原紙業株式会社	武蔵株式会社	株式会社 大和屋洋紙店	株式会社 ヨシカワ	吉川紙商事株式会社	吉田次作商店	株式会社 吉本洋紙店	米山紙商事株式会社
-----------	-----------	-----------	------------	-----------	----------	---------	----------	------------	----------	------------	------------	----------	---------	----------	---------	----------	-----------	-----------	------------	-----------	--------	-----------	------------	----------	-------------	----------	--------	-------------	-----------	-----------	--------	------------	-----------

支部の動き

- 1月8日 八丁堀三田村地区長骨折、荒川区名倉病院にて加療中を小宮山支部長見舞。
- 1月10日 新川地区新年会、於・ダイヤモンドビル、小宮山支部長生命共済加入を呼びかけをする。
- 1月17日 京橋電気安全協会新年会、於・築地スエヒロ、小宮山支部長出席
- 同日 八丁堀地区新年会、於・京橋会館、小宮山支部長出席。
- 1月18日 入船地区新年会、於・福神楼
- 同日 湊地区新年会、於・治作、小宮山支部長出席。
- 1月19日 工団連新年会、於・築地スエヒロ、小宮山支部長他理事多数出席
- 1月19日 中央厚生事業協組新年会、於・躍金楼、小宮山支部長他二名出席
- 1月24日 部長会、地区長会、於・支部会議室、新年臨時總會、生命共済加入・組織強化促進を打ち合せ。
- 1月25日 八丁堀地区憐実誠堂田中つる社長の通夜に小宮山支部長弔問。
- 1月26日 築地地区憐一九堂印刷所岩尾篤一社長の社葬、於・築地本願寺、小宮山支部長他組合員多数弔問。
- 同日 憐実誠堂社長社葬を八丁堀玉円寺にて執行、石曾根副支部長他組合員多数弔問。
- 1月27、28日 支部新年臨時總會・新年会、於・熱海・静観荘、来賓、組合員、関連業など総勢一四五名参加のもと、退任役員に感謝状、記念品の贈呈などと、賀詞交換をおこなう。

「京橋の印刷」広告募集

当京橋支部では、業界の推移、技術や営業の情報交換など組合員の結束を計るために、支部報「京橋の印刷」を刊行しています。就きましては時節柄誠に恐縮ですが、協賛広告にご応募くださいますようお願い致します。

協賛広告掲載料金

一段	天地 五〇耗	半年 (六回)	金六万円也
	左右一四五耗	一ケ年 (十二回)	金十万円也
半段	天地 五〇耗	半年 (六回)	金三万円也
	左右 七〇耗	一ケ年 (十二回)	金五万円也

図案・版下は実費頂戴いたします。

東京都印刷工業組合京橋支部

弔事

1月13日 築地地区組合員憐一九堂印刷所社長岩尾篤一殿は胆嚢癌のため逝去、行年六二才

1月22日 八丁堀地区組合員憐実誠堂社長田中つる殿は交通事故により入院加療中にご逝去。行年七十一才。謹しんでお二方のご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

▼問題は時と同様、予算審議は荒れ模様である。当執行部も年度内の事業計画の消化に多忙な日程となってきた。二月には本部の各種委員会の計画事業も幾つかあり、三月には本部最大の事業であるプリンテング・フェアの開催である。当執行部も、これら事業への協力の外に、来年度の予算編成と事業計画の立案に、とりかかる予定である。昭和五三年度は隣り間に過ぎ去ろうとしているが、来る昭和五四年度は綿密なる計画の下に、真に充実した一年にしたいと考える次第である。(T・S生)

▼本号は支部新年臨時總會を特集した。本年に入って支部最大の行事である本臨時總會も支部組合員の方々の始め、ご来賓の方々、また関連業界の方々の絶大なご支援により、無事終了できたことを深く感謝申し上げる次第である。総会運営方法などに猶多くのご批判のあるところであるが、新しい年を迎えて組合員の方々が一堂に会して、歓談の機会をもつことの意義は、極めて大きなものがあると思われる。本総会に関し組合員の方々の外に、関連業界の方々よりもご意見を頂戴することが出来、厚く御礼を申し上げます。上げる次第である。

▼政界も年度末を迎え極めて多忙な日程となってきた。国会では新年度の予算の審議に与野党の攻防が、いよいよ酣となる訳であるが、今年には又またダグラス、グラマン問題をかかえて、ロッキー

▼春闘がまた近づいて来た。その妥結額に、元来、異質であるべき出版・印刷が同列に扱われて平均化して発表されていることに、腹立たしさを覚えている。要するに印刷業の地位が低く見られているのだ。これは半ば業者自らが招いた所だと思ふのだが、一口に言うとう印刷中小企業が純然たる製造工業の態様を、確立していない処から来る。例えば印刷料金の根本をなす人件費、また、そのもととなる最低の労働条件など、業界を通じて余りにも統一性のないことは、その一つである。これが真剣に考えられなければならない。印刷料金の適正化など解決への道はほど遠い。印刷管業士勿論必要だが、印刷労務士などもあってよい位だ。(T・W)

▼第一四号はまたまた定期二月一五日発行ができなかった。三月号は組合員の協力でそれを果したい。(編集部)